

豊野町の民俗と地区誌 目次

緒言
例言
口絵

民俗 第一部 生活と民俗……………1

第一章 衣生活……………3

第一節 暮らしのなかの装い……………5

- 一 仕事着
- 二 下着と子ども服の変遷
- 三 かぶりものと履きもの
- 四 天候、季節による装い
- 五 人生礼儀、冠婚葬祭の身仕度
- 六 社会生活でのユニフォーム

第二節 洗濯と保存……………14

- 一 洗濯
- 二 保存

第三節 紡織・手染めと衣服づくりの講習会……………16

- 一 紡織
- 二 手染め
- 三 衣服づくりの講習会

第二章 食生活……………19

第一節 食料……………21

- 一 主食料
- 二 野生植物の利用
- 三 魚介や肉類の利用
- 四 救荒食料

第二節 貯蔵……………24

- 一 穀物の貯蔵
- 二 野菜の保存

第三節 調理……………26

- 一 穀物の調理

- 二 味噌・タマリ
- 三 調味料
- 四 豆腐と凍み食品

第四節 食品……………31

- 一 粉物
- 二 間食
- 三 煮物・漬物・汁物
- 四 改まった日の食品

第五節 食制……………35

- 一 食事の回数と場所
- 二 食事の作法
- 三 改まったときの食事
- 四 食器具
- 五 供物と俗信

第三章 住生活……………41

第一節 屋敷……………43

- 一 屋敷構え
- 二 屋敷地の選定条件
- 三 屋敷内の呼び名

第二節 飲料水……………45

- 一 飲み水
- 二 ミツイシ

第三節 母屋と小屋……………47

- 一 屋敷内の付属建物
- 二 母屋

第四節 間取り……………53

- 一 間取りの形態
- 二 居間
- 三 勝手場
- 四 いろりとかまど
- 五 寝間
- 六 座敷

第五節 建築儀礼……………58

- 一 普請
- 二 地鎮祭
- 三 建前
- 四 新築祝い

第四章 生産生業……………61

第一節 稲作……………63

一 水田

二 田こしらえ

三 田植え

四 収穫

五 籾をする

第二節 畑の仕事……………70

第三節 養蚕……………71

一 掃き立て

二 上族

三 繭

第四節 山の幸……………73

一 炭焼き

二 狩猟

第五章 交通・交易……………75

第一節 交通……………77

一 田畑の出入り道

二 道の呼び名と道普請

三 道の分岐点と道標

四 渡し場

五 旅

第二節 運搬……………80

一 人力による運搬

二 川の運搬とソリの運搬

三 馬と車による運搬

第三節 交易……………84

一 行商

二 旅芸人

三 仲買

四 せり市と取引の決済

五 市・市神・夜店

第六章 社会生活……………91

第一節 ムラ社会の結びつき……………93

一 ムラの発生

二 ムラの構成

三 ムラの寄り合い

四 ムラの仕事

五 制裁と援助

第二節 本家・分家の結びつき……………97

一 呼び名・期間

二 付き合い

三 分家慣行

四 相続

五 同族

第三節 年齢集団の結びつき……………100

一 子どもの集団

二 若者の集団

三 女性の集団

四 趣味の集団

第七章 信 仰……………105

第一節 ムラの信仰と祈願……………107

一 ムラの神社

二 ムラの祭り

三 共同祈願

第二節 家の神様……………113

一 屋敷神

二 屋内の神

第三節 さまざまな信仰……………115

一 講

二 仕事の神様

三 路傍の神仏

第八章 民俗知識……………123

第一節 しつけ……………125

一 しつけ

二 一人前

第二節 予兆……………127

一 天気について

二 豊凶作

三 人の生活と予兆

四 夢

五 占い

第三節 忌み……………131

一 人の一生と忌み

二 土地をめぐる禁忌

三 日常生活の禁忌

第四節 まじない……………133

一 まじない

二 生 死

三 災難除け

第五節 民間療法……………134

一 身体の病氣

二 子どもの病氣

三 怪我そのほか

四 薬になる野草・動物

第九章 人の一生……………139

第一節 産 育……………141

一 出産の祝い

二 幼児の祝い

第二節 子ども組から若者組へ……………142

第三節 婚 姻……………143

第四節 厄年と年祝い……………144

第五節 死と供養……………144

一 臨 終

二 葬 儀

三 供 養

第十章 年中行事……………147

第一節 正 月……………149

一 正月準備

二 正月と仕事始め

三 子祝行事

第二節 春から夏へ……………151

一 節 分

二 端午の節句

三 盆行事

第三節 秋から冬へ……………153

一 ミサヤマ

二 カマアゲ

三 えびす講

第十一章 芸 能……………157

第一節 ムラの祭り……………159

一 神楽と獅子舞

二 御柱祭	
三 山車と屋台	
四 二十三夜さんとメンパ踊り	
五 南石の花火	
六 豊野ヨイシヨコマつり流し踊り	
七 四万八千日	
八 祇園祭	
第二節 芝居と演芸……………	177
一 地芝居	
二 本格的な演劇活動	
三 旅役者の芝居	
第三節 盆踊り……………	178
一 踊るとき・場所・音頭取り	
二 盆踊り歌	
第四節 旅芸人……………	180
第五節 競 技……………	180
第六節 かけごと……………	182
第七節 こどものあそび……………	183
一 幼児のあそび	
二 家の中のあそび	
三 軒下あそび	
四 家の外のあそび	
第八節 歌……………	185
一 仕事の歌	
二 祝いやまつり行事の歌	
三 こどもの歌	
四 はやり歌	
五 その他の歌	
第九節 ならいごと……………	195
一 謡 曲	
二 詩 吟	
第十二章 口頭伝承……………	199
第一節 伝 説……………	201
一 植物・石・水の伝説	
二 塚・城・屋敷・寺・神社の伝説	
三 神仏の伝説	
第二節 世間話……………	215

民俗 第二部 さまざまな民俗……………221

第一章 ムラ境の変化……………223

第一節 自然とムラ境……………225

- 一 生活のなかの雪
- 二 災害とムラ境

第二節 生活とムラ境……………230

- 一 開拓のムラ
- 二 年中行事とムラ

第三節 ムラ境の変化……………234

- 一 ムラの意識

第二章 豊野の交通と交易……………237

第一節 街道と豊野……………239

- 一 主な街道と役割
- 二 神代宿と浅野宿

第二節 交通機関の変貌と豊野……………245

- 一 道路交通の変遷
- 二 鉄道交通の変遷

第三章 鳥居川のもたらす恵み……………259

第一節 水稻耕作と鳥居川……………261

- 一 豊野町の用水路
- 二 日影堰
- 三 今井堰
- 四 石村堰

第二節 水車のある暮らし……………264

- 一 水車の分布
- 二 水車稼ぎ
- 三 水車のもたらす恵み

第三節 鳥居川の産物……………268

- 一 川の水産物
- 二 浅川の漁法
- 三 鳥居川の漁法

第四章 豊野町のりんごづくり……………273

第一節 豊野りんごのあゆみ……………275

第二節	りんごづくり	277	三	火防大日講と信者	
第三節	りんごの防除	281	四	火防のお札	
第四節	りんごとくらし	287	第六章	ムラの近代化と	
第五章	火をめぐる豊野のくらし	291		ドンドン焼きの変容	307
第一節	火を大切にすくらし	294	第一節	ドンドン焼きの変容	309
	一 家の中で		第二節	ドンドン焼きの御神体	313
	二 季節の中で		第三節	各地区のドンドン焼き	316
	三 あかりとまつり		第七章	時代とともに生きた若者たち	323
第二節	火焚きと燃料	297	第一節	戦争に翻弄された若者たち	325
	一 焚き物			一 若衆仲間から青年会へ	
	二 火焚き			二 戦争と若者	
	三 燃料の移り変わり		第二節	試行錯誤する青年会活動	328
第三節	火をめぐるくらし	299		一 戦後の民主化と青年会	
	一 石のIさんの家			二 青年会活動の衰退	
	二 豊野のKさんの家		第三節	わが青春の青年団活動	330
第四節	火へのおもい—宝蔵院の火防信仰—	301		一 機関紙「鳥居川」創刊	
	一 宝蔵院と火防信仰			二 公民館活動と青年団	
	二 火防祭り				

三 青年団活動の転換期

第八章 生活改善による冠婚葬祭の変容…… 337

第一節 結婚式の変容 …… 339

一 従来のお葬式

二 結婚式改善の動き

第二節 お葬式の変容 …… 345

一 従来のお葬式

二 お葬式改善の動き

口 絵

地区誌 …… 351

第一章 川谷区 …… 353

第一節 川谷区の地域と人 …… 355

一 川谷の区域

二 区内の地名

三 住民

第二節 区の沿革 …… 356

一 江戸時代

二 明治時代から

三 日影川谷のうづりかわり

第三節 川谷区の自治 …… 363

一 区の条例

二 川谷区の会計

三 区役員一覧表

四 消防組

第四節 区内の産業 …… 368

一 戦前の産業

二 戦後の農業

第五節 区内の社寺と文化 …… 370

一 神社と寺院

二 区内の石ぶみ

三 文化活動

第二章 大倉区 …… 381

第一節 地域と人 …… 384

一 大倉の区域

二 区内の地名

- 三 戸数と人口
- 四 区内の公共施設

第二節 沿革……………388

- 一 江戸時代まで
- 二 近世の大倉村
- 三 近代の大倉
- 四 戦後の大倉

第三節 区の自治……………394

- 一 区の組織
- 二 区役員の選出
- 三 区の主な事業
- 四 事務所と公会堂
- 五 大倉区の会計
- 六 大倉区の役員表
- 七 消防組

第四節 区域の産業……………403

- 一 明治時代の農業
- 二 昭和の農業
- 三 区内の商工業者

第五節 区内の社寺と文化……………408

- 一 神社と寺院
- 二 区内の石ぶみ
- 三 区内の文化活動

第三章 蟹沢区……………429

第一節 蟹沢の地域と人……………431

- 一 区域
- 二 地名
- 三 住民
- 四 区内の公共施設

第二節 沿革……………433

- 一 江戸時代
- 二 近代の蟹沢

第三節 区の自治……………436

- 一 蟹沢区規約
- 二 区内の集会所
- 三 区の役員
- 四 消防組の沿革
- 五 消防組の組頭

第四節 区域の産業……………443

一	蟹沢の農業	
二	商工業	
第五節	区の社寺と文化	447
一	神社と寺院	
二	区内の石ぶみ	
三	文化活動	
第四章	浅野区	463
第一節	浅野区の区域と住民	465
一	浅野区の区域	
二	浅野区の地名	
三	浅野区の住民	
四	浅野区にみられる紋章	
五	区内の公共施設	
第二節	浅野区の沿革	475
一	江戸時代以前	
二	江戸時代	
三	明治以降	
四	昭和以降の浅野	
第三節	浅野区の自治	479
一	浅野区政	
二	浅野区の関係団体	
三	区の条例と規則	
四	歴代区長（総代）と区長代理（副総代）	
第四節	浅野区の産業	486
一	農業	
二	養蚕・家畜・漁業	
三	浅野区の商業	
四	区内の製造業	
第五節	浅野の文化活動	491
第六節	神社と寺院	496
一	神社	
二	寺院	
三	諸神・諸仏	
第七節	浅野区の石ぶみ	503
第八節	浅野神社神楽奉納と獅子舞覚書	510
一	浅野青年会の時代	
二	浅野神社神楽奉納保存会	
三	獅子舞	

第五章 豊野区……………521

第一節 区域と人……………523

- 一 豊野の区域
- 二 地名
- 三 住民
- 四 区内の公共施設

第二節 沿革……………535

- 一 中世・近世の豊野
- 二 近代の豊野

第三節 区の自治……………543

第四節 区内の産業……………551

- 一 豊野の農業
- 二 商工業

第五節 区内の社寺と文化……………561

- 一 神社と寺院
- 二 区内の石ぶみ
- 三 豊野の文化活動
- 四 高津正雄翁の覚書

第六章 石区……………611

第一節 石の区域と人……………613

- 一 区域
- 二 地名
- 三 住民
- 四 区内の公共施設

第二節 沿革……………617

- 一 中世の石村郷
- 二 江戸時代の石村
- 三 近代・現代の石区

第三節 区の自治……………621

- 一 石区の条例
- 二 石区の役員一覧
- 三 消防組

第四節 区域の産業……………626

- 一 明治の農業
- 二 大正・昭和の農業
- 三 石区の商工業

第五節 区内の社寺と文化……………631

- 一 神社と寺院
- 二 区内の石ぶみ
- 三 文化活動

第七章 南郷区

..... 653

第一節 区域と人

..... 655

- 一 区域
- 二 地名
- 三 住民

第二節 区の沿革

..... 658

- 一 中世・近世の南郷
- 二 近代・現代の南郷

第三節 南郷区の自治

..... 665

- 一 南郷区公会堂
- 二 南郷区の自治規則
- 三 南郷区の役員
- 四 南郷の消防組

第四節 区域の産業

..... 672

- 一 南郷の農業
- 二 南郷の商工業

第五節 区内の社寺と文化

..... 679

- 一 神社と寺院
- 二 区内の石ぶみ
- 三 文化活動

民俗執筆者名簿..... 693

民俗資料調査協力者一覧..... 694

地区誌編集関係者名簿..... 697

あとがき..... 698

題字 町誌刊行委員長 萩原 秋夫